

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~3日	3月 ~10日	3月 ~17日	3月 ~24日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	13	5	15	4
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	16	22	29	17
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	0	1	0	0
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	0	0	0	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	5	5	2	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	3	1	3	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	2	2	2	3

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第12週(3月18日~3月24日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4			1		1	1	1
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類	12	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2			1			1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3					2		1
		ジアルジア症	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	5			1		4		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり11.67人の報告がありました。減少傾向ですが、注意報レベル(定点当たり10)を上回る水準が続いています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.31人の報告があり、減少傾向が続いています。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

3 RSウイルス感染症

定点当たり0.70人の報告があり、前週と比べて増加しました。RSウイルスの感染経路は飛沫感染と接触感染です。症状としては、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々ですが、特に生後6カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、注意が必要です。また、おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	増減	
												急増減	増減
インフル	インフルエンザ	420	11.67	3.35	◇	小児科	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.04	◇	急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	83	2.31	0.91	◇		流行性耳下腺炎	-	-	0.06	◇	増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
小児科	RSウイルス感染症	16	0.70	0.28	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	◇	微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	咽頭結膜熱	9	0.39	0.17	◇		流行性角結膜炎	6	0.75	0.18	◇	横ばい	ほとんど増減なし
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	74	3.22	0.91	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	◇	報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。	
	感染性胃腸炎	113	4.91	3.67	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-	◇	インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	
	水痘	3	0.13	0.16	◇		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	-	◇	小児科定点数	
	手足口病	3	0.13	0.04	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	◇	眼科定点数	
	伝染性紅斑	-	-	0.13	◇		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.09	◇	基幹定点数	
	突発性発しん	7	0.30	0.32	◇							(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)	

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	16	40歳代・市外
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	7	60歳代、70歳代
5	ジアルジア症	1	1	80歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	5	50歳代
5	梅毒	4	34	20歳代・2人、30歳代・1人、50歳代・1人